

ZEROチーム(尻労)県大会4連覇達成! ～第22回ミズノオープン男子ソフトボール東北・北海道大会青森県予選～

8月27日(土)・28日(日)に十和田市で行なわれた第22回ミズノオープン男子ソフトボール東北・北海道大会青森県予選において、本村のクラブチーム『ZERO(向井祐樹監督・尻労)』が優勝し、東北・北海道大会への出場権を獲得しました。『ZERO』は『尻労ヤンキース』のチーム名で参加していた平成20年から4連覇達成となりました。

『ZERO』は、尻労の漁師を中心としたチームで、仕事の都合で朝野球への参加が出来ないため、5年前からむつ市内のナイターソフトボールリーグに加盟し活動を続け、県内では最強チームと認知されるに至っています。

東北・北海道大会には、今年は関東地区も参加することになっており、東日本大会として、東通小学校及び中学校野球場とむつ市内の2会場で、10月15日(土)・16日(日)の2日間の日程で開催される予定です。

「メンバーは東日本大会の優勝を目指し、仕事が終わったあと、自動車のライトを点灯して練習に励んでいます。本大会は村内での大会となりますので、皆様の応援をお願いします」(東通村ソフトボール協会 小笠原清春会長)

平成23年 第22回ミズノオープン男子ソフトボール 東北・北海道大会青森県予選会 大会結果

試合	対戦チーム	スコア
1回戦	ニューアドアー(三沢市)	11-1
準決勝	弘前大学(弘前市)	13-9
決勝	八戸工業大学(八戸市)	14-9



ZEROの皆さん、優勝おめでとうございます!

榊有也さん(城西大学)が役場でインターンシップ研修

8月22日～9月2日までの10日間、城西大学2年の榊有也さん(小田野沢)が、インターンシップ研修生として役場での仕事を体験しました。

榊さんは、主に総務課での仕事を体験し、8月27日(土)・28日(日)に開催された『ひがしどおり来さまいフェスタ2011』の準備のほか、当日の写真撮影や広報誌の記事作成などを行い、「準備から関わってきた祭りが無事成功して安心しました。参加者の楽しむ様子や笑顔を撮影できてうれしく思いました」と話していました。

また、村内全域の視察研修も行ないましたが、榊さんはこれまで出身地である小田野沢以外にはほとんど訪れたことがないとのことで、初めてみる風景や建物に驚いた様子でした。

榊さんの将来の夢は「役場で働くこと」とのことです。今回の経験を活かし、将来の夢に向かって頑張ってください。※榊さんが作成した記事は本誌12ページに掲載されているので、ぜひご覧下さい。



10日間お疲れ様でした!